(学年) 3 学年, (教科・科目) 家庭科 生活と福祉

一斉学習

(単元) ベッドメーキング

(本時のねらい)

利用者にとってベッドは多くの時間を過ごす場所であり、安全で安楽でなければならない。また、シーツ交換においては見た目の美しいベッドをつくるだけでなく、利用者が臥床状態でのシーツ交換を効率よく行える技術が必要である。そこでベッド、マットレス、マットレスパッド、シーツ、枕などの取り扱いやボディメカニクスを使った効率のよい技術を理解し、ベッドメーキングを行う手順や効率的な方法を習得させる。

(ICT 活用方法)

教科書の説明からは具体的に内容を想像できない生徒も多いため、動画を活用していく。従来は教科書やプリントでの説明のあと教員が実際にして見せていたが、見る方向からはわからない部分もあり、1回の説明では理解できない生徒もいたが、動画を自分のペースで視聴することで理解が深まっていた。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入	・快適な生活環境の整	・寝具を清潔に保つこと	
5 分	備について知る。	の大切さを知らせる。	
	・ベッドメーキングの 準備	・シーツの種類、ベッドの高さについて示す。・シーツのたたみ方について示す。 (実技)・実技を行うときの基本となるボディメカニクスについて示す。(実技)	
展開 4 0 分	・ベッドメーキングの 方法について動画で 確認する。	・一人一台端末でベッド メーキングの実習方法 について視聴させ、手順 について理解させる。	・URLを生徒に送り、一人一台端末で動画にアクセスさせ、視聴させる。
	・ベッドメーキングの 実習を行う。	・ベッドメーキングの手順を示す。(実技)・三角コーナーの作り方を示す。(実技)	

まとめ	・体験を通しての感想	・利用者と介護者の立場	
5 分	をまとめる。	から, まとめるよう指示	
		をする	

(授業の様子)





各自が1人1台端末で動画を視聴してから実習を行った。

(生徒の反応と課題,改善を要する点)

生徒たちがそれぞれ自分のペースで視聴ができたので、ほとんどの生徒がベッドメーキングの手順を理解し、ボディメカニクスを使いながら手際よく作業することができた。ただ一人一人の理解度は異なるので、視聴に終わらせるだけではなく細かい点は実際にしてみて補う必要がある。また、撮影をしたものを見ながらお互いに評価し合うのも効果があると思う。